

2024年度 東京都立大学公開講座

小笠原の洋名 ‘Bonin Islands’の 名付け親はだれ？

2024年 11月9日(土)
19:00~20:30

ビジターセンター新館ホール・参加費無料・申込不要

講師 岩本陽児（東京都立大学・客員研究員／和光大学・教授）



概要

小笠原の固有植物で、オガサワラオオコウモリが大好きなタコノキの学名は、ラテン語で「*Pandanus boninensis*」オガサワラシコウランの種小名は「*boninense*」です。「小笠原の」を意味するこうした命名のもとになったのが、小笠原諸島の洋名のBonin Islands（ポニン諸島）。これはいつ、だれが、どのように決めたのでしょうか。この不思議な名づけの歴史を紹介します。



三國通覽図説 附：無人島之図

主催：東京都立大学 小笠原研究委員会

共催：一般社団法人ピーアイオー

協力：公益財団法人東京都公園協会、小笠原村

問合せ：小笠原ビジターセンター 04998-2-3001